

目 次

<座談会>

人間の居住環境とコミュニティ	1
I コミュニティと居住性	2
はじめに	2
「群れ」と「住み分け」	4
「縄張り」の意識	5
群れを超えたものとしての「コミュニティ」	7
「ムラ」(自然村)とそれをクロス・カットするもの	8
ムラの自給性	10
II 居住の類型について	12
自然発生的と意図的	12
都市的分類と農村的分類	14
北インド・地中海型と東南アジア型	16
人口規模からくる類型	17
集落の適正規模	19
III アジアと日本のコミュニティ	22
ドクシャデスの分類の適用性	22
アジアの論理で	23
日本の近代化とコミュニティ	26
日本の都市コミュニティ——京都の場合——	27
風土と住宅政策	30
「住む」ところと「生活する」ところ	32

IV コミュニティの本質を問い直す	34
気持ちが通い合う集団	34
ヨコ割りの社会——「運命共同体」——	36
V 人間居住環境とコミュニティの計画	40
ハビタット会議の状況	40
生活者の立場からの住宅政策	42
近隣単位の都市計画	43
「夫・父型のコミュニティ」と「妻・子型のコミュニティ」	45
人口の動きと居住環境づくり	47
生き残るためのコミュニティづくり	48
人間回復の場としてのコミュニティ計画	50

ハビタット会議とコミュニティ	磯村 英一	55
I はじめに		55
II エキスティブクスにおけるコミュニティ概念		58
III ハビタット集会とコミュニティ		62
IV コミュニティ理論の接触		65
V コミュニティ理論の展開		69
VI コミュニティ理論の反省		72
VII おわりに		77

人間居住環境の目標設定	日笠 端	79
-------------	------	----